

## 全学教育推進機構 新執行部 始動！ 進藤機構長ってどんなひと？

2020年4月1日より全学教育推進機構新執行部が始動いたしました。  
新執行部の先生方の人となりを一挙 ご紹介！

全学教育推進機構機構長 副学長 進藤修一教授

※副機構長はP2でご紹介 ➡

4月に機構長に着任した進藤修一です。研究テーマは近現代ドイツ教育社会史で、はじめは技術者養成の社会史、その後近代ドイツの「資格社会」化の研究をすすめ、さらにエリート教育の歴史、中欧における言語政策と学校の関係史、最近では移民と教育に焦点を当てた研究に携わっています。

趣味は運動と音楽です。1978年まで「健康優良児」というイベントがありました。体格がよく運動能力の優れた全国の小6を対象に、優秀者を表彰するというものです。私は秋田県のファイナリスト6人に残りましたが、全国大会への県代表にはなれませんでした。実はそのころは運動は好きではなく、中学高校でトロンボーン吹きになり、高2のとき金管六重奏でアンサンブルコンテスト東北大会に出場、金賞を受賞しました。ですが金賞2校のうち全国大会に行けない「スカ金」で、なにをやっても全国の壁にぶち当たるので、大学時代はいきなりドイツまで行きました。



自分自身ドイツの教養教育の歴史を研究していたこともあり、人間性の陶冶というものは非常に重要だと考えております。全学教育推進機構に深くかかわることになったのも不思議な縁で、教養教育の新しいあり方について模索していきたいと考える今日この頃です。大阪大学の教養教育の発展に全力を尽くしますので、どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。



## 令和2年4月1日 DAICEL Studio オープン

株式会社ダイセルとのネーミングライツ協定により、サイエンス・スタジオAの愛称が「DAICEL Studio (ダイセルスタジオ)」となりました(2023年3月まで)。



サイエンス・スタジオAは、科学の基礎教育を推進するサイエンス・commonsの一角にあり、科学に関する知識等の普及と共創のために利用されているスタジオです。一方、ダイセルは大阪を創業の地の一つとし、化学を中心としたモノづくりを通じ、世の中に貢献する価値を生み出し続けてきました。

「DAICEL Studio」の開設は、サイエンス・スタジオAのこれまでの活用主旨と、「化学」を中心に未来を切り拓こうとするダイセルの姿勢が合致したことに始まります。これまでダイセルと本学は、共同研究講座の設置など、様々な面で協力をしてきました。今回の協定を機に、全学の学生が教養教育を学ぶ場である全学教育推進機構として、未来ある学生のみなさんの修学環境をより一層充実させるべく取り組んでまいります。



(右から)高部昭久様(株式会社ダイセル 取締役執行役員 事業創出本部長)  
中谷和彦 大阪大学理事・副学長

詳しくはこちら



## 副機構長

### 全学教育企画開発部 部長 宇野勝博教授

全学教育企画開発部長の宇野勝博と申します。数学、その中の代数学という分野が専門です。抽象的な内容が多い分野ですが、抽象的であるからこそ、様々なことに繋がると思っています。授業でも数学を担当していますが、学生の皆さんには、答えを求めるだけでなく、解答に至るときになぜそのアプローチを取るのか、どういう論拠に基づいているのか、また、そのことを他者に納得してもらうにはどうすれば良いかを考えて欲しいと思っています。さらに、できれば時間をかけて考えて、本質に触れる喜びを感じて欲しいと思っています。

数学と並んで好きなものは音楽です。高校・大学と楽器をしていましたが、近年は、もっぱらコンサートに足を運んでいます。やはり生の音は良いですね。



## 副機構長

### 共通教育実施推進部 部長 上田良夫教授



本年4月より、共通教育実施推進部長を拝命いたしました工学研究科の上田です。研究テーマは、高温プラズマを利用した核融合エネルギーの研究開発、及びそこで得た知見をベースとする新たなプラズマ応用分野の開拓です。

趣味は、ボードゲーム（特に将棋とバックギャモン）、および下手の横好きのゴルフです。最近では、若き天才棋士、藤井聡太プロの活躍から目が離せません。

さて、新入生にとって、大学における学びは高校までのそれと大きく異なり、専門知識を習得するだけでなく、それを社会生活や人生の知恵に昇華させるという重要な役割を持っています。共通教育はこのような大学での学びの基盤を作るための重要な入り口であり、共通教育に携わっておられる先生方に深く感謝申し上げますとともに、先生方をしっかりサポートさせていただきたいと考えております。よろしく申し上げます。



## 副機構長

### 教育学習支援部 部長 楠本真二教授

#### ①専門分野

ソフトウェア工学（特にソフトウェア開発の定量化、見積り、プロセス改善等）

#### ②趣味

野球観戦、温泉巡り、映画鑑賞

#### ③教育への抱負

専門分野であるソフトウェア工学は、大学だけの活動では難しく、企業の方々との産学連携の研究や教育が必要になってきます。その一環として、この10年ほど文部科学省の教育事業である実践的なソフトウェア開発に関する教育プログラムを担当してきました。教育学習支援部では様々な新しい教育手法に関するセミナー等の活動を活発に行っており、今後の自分自身が行う実践教育のために勉強させていただきつつ、教育学習支援部、全学教育推進機構の更なる発展に、少しでもお役にたてるよう努力していければと思っています。



ちよこつと

機構紹介

## 「教養教育歴史コーナーの展示パネル」



前号で紹介した実験棟の「教養教育歴史コーナー」には、浪速高等学校のステンドグラス、大阪大学教養部の看板とともに、旧制浪速高校、旧制大阪高校、大阪外国語学校の沿革を展示しています。



詳しくはこちら▶

<https://www.celas.osaka-u.ac.jp/facilities/history-exhibition/>





## 新入生の不安解消を目指して

# 阪大ウェルカムチャンネル

本学では、2020年4月2日に予定していた入学式の開催を見送り、共通教育については4月20日からの春・夏学期の授業開始を決定しました。その後、COVID-19に関わる新学期授業支援対策チーム内に、全学教育推進機構教員6名、学生スタッフ5名、学生アルバイト2名からなるウェルカムチャンネルチーム（座長：佐藤浩章）が設置され、新入生向けの動画コンテンツの作成・配信を行ってきました。以下の方針のもと、新入生の学習保障のために、活動してきました。



- ① Youtube の限定公開機能を使って非同期型コンテンツを作成する
- ② 平日毎朝 10 時 30 分に 1-3 本の新規コンテンツを配信する
- ③ 動画公開と同時に平日の午前中に LINE の公式チャンネルを使って URL を送付して告知する（6月1日より配信頻度を毎週金曜日に変更）
- ④ 新規コンテンツの作成と LINE による配信は、春・夏学期が終了する7月までとする

LINE公式チャンネルの友だち登録者数は1,025名（5月30日当時）であり、本学に入学した新入生の約3分の1が登録したことになります。4月9日から7月24日までに配信したコンテンツ総数は63本であり、総視聴回数は25,365回（7月22日現在）でした。コンテンツは以下の表のとおりです。

配信はすでに終了しましたが、一部コンテンツについては全学教育推進機構のウェブサイトに常時掲載することも検討しています。また、来年度以降の実施についても検討をする予定です。



### 阪大ウェルカムチャンネルコンテンツ一覧

	コンテンツ名
学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 阪大模擬授業（遠くて近き仲—知られざる日本とスウェーデンの交流—、大学だからできる外国語の学び方、幸福とは？—哲学・倫理学の歴史から—、月の科学の最前線、ミクロな世界の不思議—量子力学入門—、知的書評合戦！—ビブリオバトル入門—）</li> <li>・ 完璧マスター！スタディスキルズ講座（アカデミックライティング・リーディング、プレゼンテーション技法、大学での学び入門）</li> </ul>
学生生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OU RADIO</li> <li>・ 課外活動オリエンテーションWebサーオリに参加しよう！</li> <li>・ キャリアセンターのご紹介</li> <li>・ 多言語カフェのご紹介</li> <li>・ グローバルな交友関係を築こう！</li> </ul>
スポーツ・健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤田先生のマツル体操</li> <li>・ チェンチェンのうがい・手洗手法！</li> <li>・ 手軽にできるストレス解消法 —ポジティブ心理学の視点から—</li> <li>・ 新型コロナウィルスを知ろう</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウェルカムメッセージ（全学教育推進機構長）</li> <li>・ 履修登録基礎の基礎</li> <li>・ 大阪大学学生歌</li> <li>・ ウェルカム阪大！新入生交流会ダイジェスト</li> </ul>

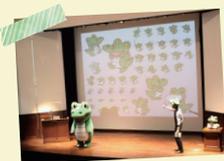
## Welcome 阪大 新入生交流会

6月15日から27日にかけて、「ウェルカム！阪大 新入生交流会」が開催されました。

田中理事・副学長の司会のもと、西尾総長のご挨拶やワニ博士の登壇により、今まで伝えたくても直接伝えることができなかった「入学おめでとう」の気持ちが新入生に伝えられました。アイスブレイクで会場の空気がほぐれた後に、配布資料のキャンパスマップを用いて、困ったときの相談窓口の場所が説明されました。つづいて、新型コロナウィルスとの付き合い方、特に人にうつさないために気をつけるべきことに関して、短い講義が行われました。



当機構からは進藤機構長が登壇し、ステューデント・コモンズとサイエンス・コモンズ、パウダールーム、学生ラウンジなど機構の施設・設備の紹介、オンラインでの多言語カフェなど機構が行っている学習支援についての説明を行いました。最後には学部別の交流会も行われ、出席した新入生は、4月以来久しぶりに訪れたキャンパスでのイベントを楽しんでいる様子でした。



# オンライン授業実践ガイド

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、2020年度の春～夏学期は、急遽オンライン授業の準備・実施が必要となりました。教育学習支援部では、以前から取り組んできたICT活用教育支援のノウハウを踏まえて、「オンライン授業実践ガイド」というウェブページを新たに立ち上げました。オンライン授業には、同時型・非同時型、一方向型・双方向型など、授業内容や先生方のバックグラウンドによって、様々なツールや形態がありますが、このウェブページでは、オンライン授業の具体的な実践方法・評価方法や実施のポイント、大阪大学の先生方による授業実践事例などの情報をまとめています。今後もコンテンツを充実させていく予定ですので、秋～冬学期以降でも引き続きオンライン授業をされる先生方の参考にさせていただければ幸いです。



全学教育推進機構 教育学習支援部 浦田悠・根岸千悠

**CASE 7** リアルタイムで双方向の授業を実施して収録したい。不用意な拡散等のリスクを避けるためにも、できるだけ学内のサービスで実施したい

Blackboard collaborate + CLE 公開

**STEP**

1. CLEでCollaborateを利用可能な設定にする
2. セッションを作成する
3. Collaborateで講義し、収録する

**PROS**

- CLE内で全て完結
- 学生・教員ともアプリ不要
- テキストや音声、チャット等
- 対面の授業を補う機能がある
- 教員も専任スタッフでも見やすい
- 自動で出力確認が可能

**CONS**

- 教員側の操作は慣れが必要
- 15分単位で録音できない
- 30分以降も利用できない
- 対面の授業を補う機能がない
- 学生の顔が一覧できない
- 学生の発言履歴が多くなり互いの同時配信時のトラブル対応が難しい

導入難易度	利用期限	人数制限	限定公開	2画面配信	視聴履歴	ダウンロード	通信量
普通	～9/30	～500人※1	<input type="radio"/> 〇 <input type="radio"/> ※2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不可	多 (課外可)

※1 申請が必要。250人までは申請無で利用可能 ※2 2画面配信はリアルタイム配信時のみ



「オンライン授業実践ガイド」のウェブページです。  
<https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/project/onlinelecture/>



## 「学問への扉」をテーマにした作品を展示

2020年3月27日（金）に全学教育推進機構総合棟1（ステューデント・コモンズ）1階玄関にて、阪大レゴ部と阪大手芸サークルSiffon\*による、「学問への扉」をテーマにしたアート作品のお披露目会が開催され、佐藤前機構長からは記念品として、両部代表に機構オリジナルクリアファイルが手渡されました。両部とも各学部をイメージした11体のワニ博士が登場する作品で、レゴとフェルト生地という全く違う素材で表現されています。



◀ 阪大レゴ部

この作品により、玄関前が学生たちのホットスポットになってくれること、多くの人が「学問への扉」に関心を持ってくれることを期待しています。



▲ 阪大手芸サークルSiffon\*



### 編集後記

玄関に祇園祭の厄除け粽を飾りました。疫病退散の霊験あらたか、ならず。(K 沢)  
 今年本厄であることに今気づきました。(K 沢)  
 毎年夏は暑いですが、今年は本当に特別です。(T おじ)

ニュースレターへのご意見・ご感想・ご要望はこちらまで  
 public-relations@celas.osaka-u.ac.jp

